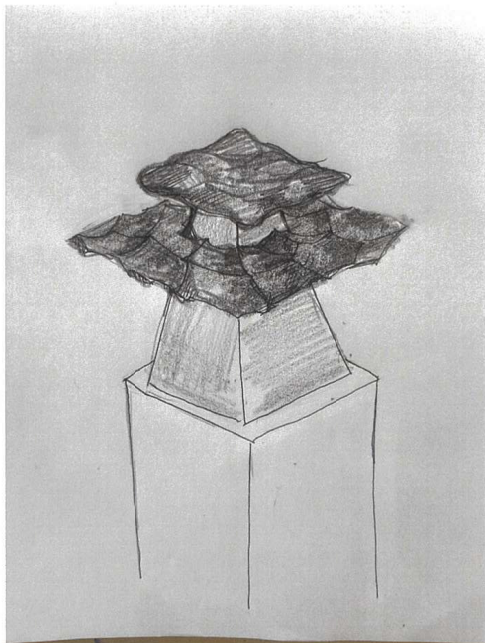


作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

台座置き       壁付

※台座置き作品は台座のサイズも分かるように記入すること  
※台座のサイズは幅 600 × 奥行 600 × 高さ 1030mm 以内

作品 および 設置イメージ・説明・制作方法



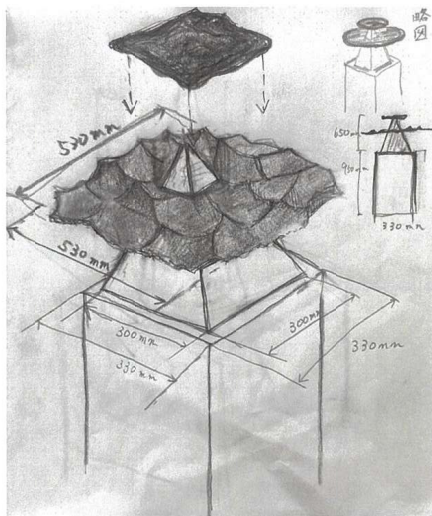
三角錐の大理石を軸とし薄く削り込んだ黒御影石をはめ込みとピンでそれぞれ固定する

黒御影石の1段目と2段目はそれぞれ別のものをモチーフとしているため、削り込み方が異なる。よって表面の処理の仕方も変わる。

三角錐と上段は、ピンで固定する。下段ははめ込めるよう四角い穴を開ける。

磨き仕上げを施す。光の反射や像の写り込みがみられる作品になる。

風景を構成する大地・空気・水とその流れをイメージとして扱い抽象彫刻として提示する。



素材

黒御影石  
大理石

作品サイズ  
幅530×奥行530×高さ650mm

台座サイズ  
幅330×奥行330×高さ900mm

作品名	LandscapeⅢ・関係	作品NO.	58
素材	黒御影石、大理石	想定重量	75 kg
作品サイズ	横幅 350 × 高さ 650 × 奥行 350 (単位: mm)		

作品コンセプト

風景を構成する大地・空気・水など目には見えずとも確実に存在し変遷する自然物のイメージを扱った作品である。また、自然と人工の対の関係も作品のコンセプトとして含まれている。石を削り込むことで重さや強さを実感すると同時に石の弱さや儚さを体感した。石の強さと弱さの対の関係は、どちらかを知りたいと思った時に両方見えてくるものである。例えば光を認知できるのは影があるからであり、その逆も然り。自然と人工の関係もそうなのではないだろうか。そこに優位性はなく対の関係がただただ風景を創り出す。この作品から自然物が持つ雄大な強さとそこに見え隠れる石の弱さ、儚さから石という素材の新たな魅力を風景として体感してもらいたい。大都市のマンションエントランスに自然石で創られた小風景という状況が新たな空間の広がりや風景を創り出す。見る時の心情や状況によって見え方に変化が起きるような居住者の心に寄り添った作品を目指す。

【過去の自分の作品】 ※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください

